令和7年度 鹿児島県医療的ケア児等コーディネーター養成研修 開 催 要 領

1 目的

本研修は、人工呼吸器を装着している障害児その他の日常生活を営むために医療的ケアを要する状態にある障害児等(以下「医療的ケア児等」という。)が地域で安心して暮らしていけるよう、医療的ケア児等に関する相談対応、医療的ケア児等のライフステージに沿った支援の調整や関係機関との情報共有、支援に必要な地域資源等の把握・開発など、地域において、医療的ケア児等の支援を総合調整する者、又は個別支援に係る関係機関との調整等を行う者を養成することを目的とします。

2 実施主体

鹿児島県(鹿児島県医療的ケア児等センターへ委託して実施)

3 実施方法

オンライン開催(オンデマンド受講)と集合研修を組み合わせて実施します。 カリキュラムの一部は医療的ケア児等支援者養成研修(以下「支援者養成研修」という。)と同時開催で実施します。

4 研修期日

- (1) オンライン研修(支援者養成研修と同時開催) 令和7年12月8日(月)~19日(金)
- (2) 集合研修

令和8年1月6日(火),7日(水)

- ※ オンライン研修は、上記の配信期間内に全ての科目(合計12時間程度)を受講の 上、12月22日(月)までに県ヘレポートを提出してください。
- ※ 集合研修は、2日間のカリキュラムを全て受講することを必須とします。

5 集合研修の研修会場

カクイックス交流センター(かごしま県民交流センター) 大ホール 住所: 鹿児島市山下町14-50

6 受講対象者

市町村、相談支援事業所又は関係機関に所属し、各地域における医療的ケア児等の支援に係る総合調整を行っている、又は行う予定の方。原則として各市町村の推薦を受けた者とします。

7 募集定員

60名(市町村からの推薦の状況に応じて追加を認めることがあります。)

8 研修内容

別紙研修カリキュラムのとおり(別紙)

※ 本研修は、医療的ケア児等の支援のために、必要な医療的ケアに関する基礎知識、利用できる支援、関係機関との連携等について学んでいただくものであり、 たん吸引等の実技を行うための研修ではありませんので御留意ください。

9 受講料

無料

10 申し込み方法・申し込み期限等

下記の電子申請システムからお申し込みください。

●申し込み先

https://shinsei.pref.kagoshima.jp/jrRTK03X

●申し込み期限

令和7年11月7日(金)【必着】

- ※申し込み内容については、市町村ごとに原則2名まで(鹿児島市のみ6名まで)を 市町村が推薦の上、受講決定します。
- ※推薦対象者は、(1)市町村が配置する医療的ケア児等コーディネーター、又は(2)地域において医療的ケア児等の個別支援に係る関係機関との調整等を行う者とし、推薦者を選定する際の優先順位は(1)、(2)の順とします。

11 受講決定通知

市町村からの推薦を踏まえた受講の可否については、11月28日(金)までにE-mailで連絡するほか、受講案内を送付します。

受講者選考内容に関するお問い合わせは御遠慮ください。

12 テキストについて

受講者は各自、次のテキストを参考資料として準備してください。

- ① 医療的ケア児等支援者養成研修テキスト
- 【中央法規出版 3.300円】
- ② 医療的ケア児等コーディネーター養成研修テキスト【中央法規出版 2,200円】

13 修了証書の交付

全過程を修了した方には、修了証書を交付いたします。

- ※ オンライン研修のカリキュラム全てを受講の上、期限内にレポートを提出すること、集合研修を2日間のカリキュラム全て受講することを修了の条件とします。
- ※ レポートの期限内未提出や,集合研修の遅刻,早退,欠席の場合は,修了証書は 交付しません。

14 個人情報について

申し込みに際し取得した個人情報は、参加に係る通知やお知らせ等にのみ利用し、修了者登録後は鹿児島県が管理いたします。

なお、修了証の交付を受けた方の情報については、地域の医療的ケア児等の支援体制の充実に資するよう、勤務する事業所名を県のホームページで公表させていただくとともに、氏名と事業所名を県医療的ケア児等支援センター及び市町村へ提供させていただきます。

15 お問い合わせ先

【県担当部局】(研修の申込,修了証書の交付等について) 鹿児島県保健福祉部 障害福祉課 療育支援係(担当:市山) 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 (電話)099-286-2744 (E-mail)s-ryouiku@pref.kagoshima.lg.jp

 【事務局】(研修プログラムの内容, オンデマンド受講について) 鹿児島県医療的ケア児等支援センター(担当:高塚) 〒891-0175 鹿児島市桜ヶ丘6丁目12 (電話)099-814-7418 (E-mail) kagoshima. ikeaji. sc@bird. ocn. ne. jp

- ※ お電話の際は、「医療的ケア児の研修について」とお伝えください。
- ※ メールでのお問い合わせは、必ず所属と氏名を明記してください。

別表 医療的ケア児等コーディネーター養成研修カリキュラム概要

		ノイヤース 食以明修カライエノA似女
科目名	時間数	内容
1 総論	1 時間	①地域におけるこどもの発達と支援
		②医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律
		③医療的ケア児等コーディネーターに求められる役割
2 医療、保健	3 時間	①障害のあるこどもの成長と発達の特徴
		②疾患の特徴
		③生理
		④日常生活における支援(感染対策、摂食嚥下、口腔ケ
		ア)
		⑤救急時の対応、災害対策支援
		⑥母子保健
		⑦訪問看護の仕組みと実際の活動
3 本人・家族	2 時間	①本人・家族の思い
の思いの理解		②意思決定支援
		③ニーズアセスメント
		④ニーズ把握事例
4 福祉,保	3 時間	①支援の基本的枠組み
育,教育,労		②福祉
働		③遊び・保育
		④教育
		⑤労働
		⑥家族支援(きょうだい児支援,就労支援)
	+	⑦虐待防止対策
5 ライフステ	2時間	①各ライフステージにおける相談支援に必要な視点
ージにおける		②NICUからの在宅移行支援
支援		③児童期における支援
		④学齢期における支援 ● 76 年 世界 1 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
		⑤移行期における支援
		⑥成人期における支援
	0.1+88	⑦医療的ケアの必要性が高いこどもへの支援 ② 大塚スール作用は大塚は地敷供/大塚スールを充てる
6 地域支援体	3時間	①支援チーム作りと支援体制整備/支援チームを育てる
制整備		②支援体制整備事例
		③医療,保健,福祉,教育,労働の連携
		④地域の資源開拓・創出方法(資源把握,市町村・都道府
フ 津羽 / 社庫	フ吐服	県との連携)
7 演習(計画 #### #### #### #### #### #### #### #### #### ##### #### ##### ######	7時間	演習に向けた計画作成のポイント 事例をもとにした計画作成の演習
作成)	7 時間	事例をもとにした計画TF成の演音 事例をもとに、意見交換(グループディスカッション)・
8 演習(事例	/ 时间	事例をもとに、 息見交換(グルーフティスカッション)・ スーパーパイザーによる計画作成の指導
検討)		ヘーハーハイッーによる計画TF风の拍导

- ※科目7,8を含む一部科目は集合研修で実施します。
- ※上記カリキュラムと実際に配信する科目の名称や順番、時間数は一部異なる場合があります(合計の時間数は概ね変わりません)。